

あだち 教育 だより

発行日

平成 28 年 4 月 1 日

発行

足立区教育委員会

編集

教育政策課

NO.

64

第7回中学生 「東京駅伝」大会

男女ダブル 優勝!!

女子メンバー表

たけだ	はつ	千寿青葉中
おおやま	とうこ	第四中
おおおか	あこ	第九中
さとう	みさき	第十中
やまさき	みく	第十中
すずき	あほ	第十一中
はせがわ	あやね	第十一中
ほさか	あき	第十一中
あらい	ゆい	第十二中
せきどう	このは	第十二中
くわしま	りん	第十二中
くわばら	しほ	第十二中
もりやま	しおん	第十二中
ほさか	はるこ	第十三中
まつゆま	しずく	第十三中
せきがみ	あかり	第十四中
いしだ	あけ	新田中
くろいし	けりー	東綾瀬中
わたなべ	ゆきこ	東綾瀬中
やまもと	あみ	花畑北中
さとう	あゆむ	花保中

男子メンバー表

さとう	ひろき	千寿桜堤中
やまさき	だいち	千寿桜堤中
ほりえ	じゅんぺい	第四中
ふじもと	ろせ	第七中
むらゐ	あつし	第九中
あく	ゆうたろう	第十中
いしかわ	けい	第十一中
うえむら	こうすけ	第十一中
すぎはら	ゆうた	第十一中
つるさわ	まこと	第十一中
はが	ゆうき	第十一中
さかた	りくと	第十四中
さいとう	隼登	江南中
すずき	かづま	新田中
わだ	ゆうへい	東綾瀬中
つげあや	なるや	西新井中
あいざわ	がいは	上沼田中
からさわ	りく	花畑北中
まつだ	ようせい	花畑北中
こばやし	いつき	加賀中

第7回中学生「東京駅伝」大会 男女ダブル優勝足立区選抜チーム

すごいね！ あだちの 子どもたち

VOL.17

第7回中学生「東京駅伝」
大会で足立区選抜チーム

は、男女ともに初優勝し、総合タイムでも、総合優勝を果たしました。男女ダブル優勝は、第1回大会の町田市以来の快挙！！

足立区のこれまでの総合成績は、3位以内と好成績ながらも優勝がかなわず、まさに悲願の勝利となりました。

互いを信じる気持ちが勝利へ

「絶対的なエースがいなくて、優勝は厳しいかもしれない」。これが第1回大会から子どもたちの指導を担当してきた第十中学校の近藤敏孝先生が今年のチームを見た第一印象でした。しかし、練習を重ねるうちに「タイム差がなく安定し、レース後半にペースアップできる選手たちだ」との手ごたえを感じてきたそうです。

本番では、いくつかの区間で競り合いになるなど気の抜けないレース展開でしたが、スタジアムの画面で選手の顔色や走りを見て、コースに立つスタッフやコーチを通じて情報を共有し、細かい指示や声援を送り続けました。練習を通じて生まれた「最後まで頑張り抜くことができる選手たち」「自分たちの力を最大限に引き出してくれる先生たち」というお互いを信じる気持ちが、最高の結果に結びつきました。



先輩から後輩へたすきを

当日は、クラスや部活動の仲間、先生、保護者に加え、過去の駅伝チームの先輩たちも応援に駆けつけました。昨年のチームキャプテンから「自分たちが果たせなかった優勝を絶対にしてほしい」と激励をもらい、「自分たちの代でやるしかない」と開会式前にみんなで円陣を組み気合を入れました。

途切れることなく続いていた、コース上でのたくさんの声援が選手の辛い気持ちを力に変えました。「走るしかない」と強く後押しされた」と多くの選手は語ります。

今年のテーマは、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」。アンカーを務めた男子の飯川慧、女子の黒石ケリー知花両キャプテンは「42名の仲間、先輩、先生みんなの思いが詰まったたすきをゴールへ一番に届けたい」との思いで走り抜きました。

選手たちは「来年、自分たちも絶対スタジアムに駆けつけて後輩たちを励ましたい」と、すでに来年に思いをはせた「たすき」がつながっています。

